

令和3年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

日 時 令和3年7月14日（金）9：30～14：00

場 所 新見市役所本庁舎3階 第4委員会室

出席者

評価委員会 岡崎委員長、田中委員、中西委員

事務局 古家参与、泉参事、羽場主任

■要旨

第1回評価委員会における新見公立大学からの説明に基づき、各委員が意見を述べ評価を行った。

次回評価委員会では、今回の審議結果に基づき事務局がとりまとめた公立大学法人新見公立大学令和2年度業務実績に関する評価結果（案）、項目別評価結果（案）、及び全体評価結果（案）についての内容確認を行うこととなった。

■詳細

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 教育

1) 教育の内容

⇒評価項目評定を4とする

委員：コロナ禍の中、授業を遠隔と対面を組み合わせ工夫しており、学生の自己学習力が向上している。また、コロナに対しハード面も整えているおり、大学の努力がうかがえる。

委員：約9割の学生が地域防災士の資格を取得しており、大学の教育が成果に結びついている。評価できる点だ。

委員：各学科がコロナ禍に対し臨機応変に対応し、学生の興味を欠かさないようにできており評価できる。

委員：チューター制について、具体的な取り組みが考えられているため成果に繋がっている。このようなことができる組織は強い。これにより学生に対し細やかな指導ができている。

委員：カリキュラムが四年制大学に相応しいものに改められており、大学が目指すものが明確になっていると考えられる。

委員：国家試験合格率が2年連続で100%は特筆すべき点。四年制大学になっても努力している点だ。ライセンス取得まで結びついており、すごい成果だ。

委員：健康保育学科の「子ども発達支援士」などは大学独自の取組で工夫されている。

このような大学独自の称号は、全国の他大学でもあるのか。

⇒九州の大学で「子ども発達支援士」に似た称号を出している。しかし、独自の称号を出すことはポピュラーなことではない。

委員：学生のモチベーションをあげる取組を行っており評価できる。

委員：防災士について、学生全員がこの知識を持っておくべきという考え方は素晴らしい。
いいところに目をつけたと感じる。

委員：GPAが低い学生に対し、今後も引き続き支援をして欲しい。また、その支援の結果が聞きたかった。

委員：「チームアプローチ演習」について今後の協働に期待できる。さらに効果的に活用して欲しい。

委員：読書率が高い。学生の教養力が高められるよう、引き続き続けて欲しい。

委員：学生が図書館に入る書籍を希望することはできるのか。

→年に一回、図書委員が県南の書店に行き選書する。また、随時図書館で学生からのリクエストを受け付けている。

委員：キーボードスキルは必要だ。トレーニングアプリを導入するなどし、実技項目の達成率が100%となる様努力して欲しい。

2) 教育の実施体制

⇒評価項目評定を3とする

委員：2020年度に開講を予定していた授業が、1科目を除き全て年度内に実施できている。
これは、コロナウイルス感染症に対し迅速に対応できたということで素晴らしいことだ。

委員：教務システム(UNIVERSAL PASSPORT)は遠隔授業のためのシステムか。
→通常の教務システムにオプションで付けたものだ。

委員：スピーディーに対面とオンデマンドでハイブリットに授業をできたことは評価できる。

委員：「新見市保育・教育カリキュラム」は新見市に大学があるということを活かし作成できたものだ。
また新見市にとって有益なものだ。このため、とても有意義な成果だ。今後は質を高めて欲しい。

委員：教育支援センターの質を高め、地域との連携を進めて欲しい。

委員：養護教諭も参加できるようになればいい。

委員：①履修環境の向上や②授業評価の推進に対する実績から、評価を進めているということが見える。

委員：授業評価はどのように行っているのか。

→授業の最後に10分程度時間をとり行っている。

2 研究

1) 研究の内容

⇒評価項目評定を3とする

委員：1学部3学科の特性を活かした研究を進めて欲しい。

2) 研究の実施体制

⇒評価項目評定を3とする

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

⇒評価項目評定を4とする

委員：志願率が高く顕著な成果が見られる。引き続き今の水準で維持して欲しい。

委員：ホームページへのアクセス数が大幅に伸びている。ホームページの内容が充実されているということで評価できる。

委員：地域福祉学科が共生高校の生徒へ介護に関する講義を行ったことについて、この職種を希望している生徒にとったらとても魅力的なことだ。今後、地域福祉学科のみでなく、地域の大学として開かれたことをして欲しい。

2) 学生生活に対する支援

⇒評価項目評定を3とする

委員：学生の生活実態の把握に努めて欲しい。

委員：

委員：チューター制により、引き続き学生への細やかな支援をして欲しい。

委員：図書館の蔵書について、学術書も含め、さらに学生のニーズに合ったものを整備して欲しい。

委員：県外からの学生がほとんどにも関わらず、コロナ感染者が出なかったことは、学生の健康を含め管理ができていたということすごいです。

委員：保健管理センターを中心に感染症への対策を今後も継続して欲しい。

委員：コロナ対策を行い、入学式や学祭を開催できている。これにより友人とのコミュニケーションができた。入学式や学祭を「行う」ということはとても勇気がいることだったと思う。

委員：SAについて、学生の活躍の場があることは良いことだ。今後に期待したい。

委員：キャリア支援センターが無いにも関わらず、「キャリア支援センターを中心に、学生の個性に配慮したキャリア支援を実施する」という計画はいかがなものか。

委員：キャリア支援センター設置の準備期間だと思われるが、内容が遅れ気味ではないか。

委員：目標に対し具体的なことを早急にして欲しい。特にキャリア支援センターは早急な対応が必要だ。

委員：取組状況の具体が見えない。この辺りの記述が欲しかった。

II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

委員：開学記念の講演が良かった。

委員：地域共生推進センターが、一般の方が気軽に行くことのできる雰囲気になり、広く使われて欲しい。

委員：大学の規模が大きくなったため、施設案内の充実を望む。

委員：学生が地域へ出ていくことへの評価は高い。地域からの学生への期待は大きい。

委員：コロナウイルス感染症のため、行事が中止となっている。コロナ明けの準備をしておいて欲しい。

委員：「新見市保育・教育カリキュラム」について、新見市の保育の質のこうじょうのために、新見市と大学が共に今後もやっていってほしい。これからに期待する。

委員：地域の専門職のスキルアップの場について、コロナ後の活動について期待する。

委員：地域への研修会等について、広く多くの人が体験できるよう機会を設けて欲しい。

Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

委員：地域共生推進センターの完成により事業ができています。センターを積極的に活用し、事業を展開して欲しい。

委員：フリーペーパー「なるたき」を市報配布の際にはせ込みをしておき、昨年の指摘を改善している。

委員：SAについて、今後の活躍に期待したい。また、活躍の場を増やして欲しい。

Ⅳ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 組織運営の改善及び効率化

⇒評価項目評定を3とする

2 人事の適正化

⇒評価項目評定を4とする

委員：四年制大学を運営していくためには職員の人数が必要だ。

委員：事務の効率を上げるため、専門職のプロパーを増やして欲しい。

委員：各種研修により職員の資質向上が図られ改善していると感じる。今後も取り組んでいくべき。

委員：職員の資質向上により成果を上げて欲しい。

委員：専門職の採用について、十分ではないが前進していると感じる。

Ⅴ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 自己収入の確保及び増減リスクへの対抗

⇒評価項目評定を3とする

2 外部資金の獲得

⇒評価項目評定を3とする

3 経費の抑制

評価項目評定を4とする

委員：授業料収納率が100%であることは評価できる。今後も続けて欲しい。

委員：外部資金の獲得について、実績に数値や獲得状況が時系列で分かるものを記載して欲しい。

委員：コロナ支援に早く、効率的に対応できており評価できる。

委員：管理的経費をきめ細やかに節約しており、努力が認められる。

委員：効率的な事務を行うように。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を3とする

1 自己点検及び自己評価

⇒評価項目評定を3とする

2 情報公開及び情報発信

⇒評価項目評定を3とする

委員：「第三者による外部評価」は義務か。

→義務ではない。大学として、外部からの評価をもらい、大学を良くしていこうというの。また、令和5年度に認証評価を受けるが、この際外部からの評価を受けているとプラスになる。

委員：認証評価に間に合うよう早急に行ってほしい。

委員：情報発信を色々を行っている。継続して欲しい。

VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

⇒大項目評定を4とする

1 施設・設備の整備及び活用

⇒評価項目評定を4とする

2 危機管理及び安全管理

⇒評価項目評定を4とする

委員：学生に対しポケットW i - F i を貸与したことは特筆すべきこと。

委員：地域共生推進センターの建設では、大きな事故なく完成させることができた。

委員：地域共生推進センターの完成により、大学の魅力が増えた。

委員：

委員：コロナへの対応にしっかり気配りができている。

委員：施設管理について、かなりの点で改善できている。

委員：防災訓練について、昨年の改善ができている。訓練は毎年実施して欲しい。

委員：感染症予防がしっかりとできている。

VIII 予算、収支計画及び資金計画

⇒大項目評定を3とする

IX 短期借入金の限度額

⇒大項目評定を3とする

XII 剰余金の使途

⇒大項目評定を3とする

XIII 新見市地方独立行政法人法施行規則（平成20年新見市規則第16号）で定める事項

⇒大項目評定を3とする

1 施設及び設備に関する計画

⇒評価項目評定を3とする

2 中期目標の期間を超える債務負担

⇒評価項目評定を3とする

3 地方独立行政法人法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の使途

⇒評価項目を3とする

委員：地域共生推進センター棟が、学生にとって居心地のいいものになっており、学内の明るい要素になっている。

委員：施設改修が順調に行われている。

委員：剰余金が1億3千万円発生していることが気になった。